

アマルー・ゴールドクリーク 訪問記

平成25年9月26日木曜日、オーストラリアはキャンベラより二つの学校が本校を訪れました。一つはアマルー・スクール(Amaroo School)という学校で、生徒16名・教員4名が26日の木曜日から28日の土曜日までセミナーハウスに宿泊されました。もう一つの学校はゴールドクリーク・スクール(Gold Creek School)という学校で、26日の木曜日から30日の月曜日まで、生徒13名・教員2名が本校生のお家でのホームステイ泊+セミナーハウス泊という形で滞在されました。



27日の金曜日には本校の山陵祭体育の部が開催され、日本文化・高校生活の新たな側面を体験されました。オーストラリアでは見られないようなユニークな競技種目にも多数出場され、真剣ながらも楽しそうな表情で本校生と共に汗を流されていました。また、今回は両校共に体育の先生が訪問されており、生徒側だけでなく、教員側の視点でも体育祭の運営等について興味深く観察されていました。





翌28日の土曜日は、今年10月下旬に現地で両校を訪問する予定の本校2年生G組と交流を深めました。自己紹介とウォームアップの後、小グループに分かれ、奈良市/キャンベラ市の観光名所等に関する互いの知識を、相手に伝え合う形でクイズの正解を導き出すという形の交流活動を行いました。日本/オーストラリア独自の文化をどのように伝えるのか、お互いに頭を悩ませながら、英語と日本語を駆使して取り組んでいました。



その後は授業見学に参加しました。英語や国語、体育の授業などを見学し、オーストラリアとは異なった授業の形態に興味深げに観察されていました。

アマルー・スクールは一足先に離校されましたが、ゴールドクreek・スクールは午後はホストファミリーと共におもいおもいの時間を過ごしました。地域の観光名所やショッピングモールに連れて行ってもらったり、家庭で日本料理を作ったりと、日本の家庭生活を経験する機会を得られました。



29日の日曜日は、朝一番に本校のセミナーハウスでホストファミリーとのお別れ会に参加されました。ほんの数日でしたがホストファミリーに本当の家族のように接してもらい、驚きや感動の連続だったとの感想をお持ちでした。



日中は奈良市に観光に行きました。国際ソロプチミスト奈良—平城主催によるお茶会に招待され、奈良市の日本庭園「吉城園」にて日本文化を満喫されました。その後は奈良市の観光戦略課の協力を得て、東大寺の大仏殿を特別に拝観し、その歴史迫力に圧倒されていました。





ゴールドクリーク・スクールはその翌日、30日月曜日の朝に離校され、日本研修旅行の次の行き先である京都へ出発されました。両校ともに数日間の滞在であり、本校生と共に十分な時間が過ごせたとは言い難いめまぐるしいスケジュールでしたが、それに関わらず、大変実りの多い学校訪問であったと口を揃えておっしゃっていました。今後もお互いの生徒が貴重な異文化体験ができるよう、学校間での交流を盛んに行いたいと思います。